「電子書籍の衝撃
～本はいかに崩壊し，
いかに復活するか？～」



著者：佐々木俊尚
出版：ディスカヴァー・トゥエンティワン
発行：2010年４月15日

デジタル端末機におけるモバイル化，パーソナル化が加速するなか，パソコン市場においてもホットトピックはノートからマルチメディア用タブレット端末機（iPad, Kindleなど）へのシフトである。目下，移動中におけるメールのやりとりや簡単な文書作成，インターネットのウェブ検索を筆頭に，音楽，写真，動画が楽しめるデジタル・エンタテインメント・端末機市場が爆発している。

音楽だけではなく，テレビドラマや映画などさまざまな映像物に至るまでデジタル・コンテンツとして取引されている。次は書物においてもこのような変化が加速されそうである。

本書『電子書籍の衝撃』で著者は電子デバイス向きの新フラットフォームとして登場した電子書籍について多様な観点から検討し，電子書籍が既存市場を如何に変えていくのか，その近未来はどういうものになるのか，大胆な予測までに論じている。

また日本の出版業界が直面している諸問題について分析し，その解決の糸口を掴もうとしている。到来しつつある本格電子書籍時代に先立てぜひ一読をおすすめする。

大阪商業大学　総合経営学部　経営学科　准教授
起業教育委員会　委員　崔圭皓